

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	<u>11</u>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<u>2</u>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<u>6</u>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<u>11</u>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
<b>合計</b>	<b><u>30</u></b>

事業所番号	3970200139
法人名	株式会社 徳増工業
事業所名	グループホーム なかよし
訪問調査日	平成21年1月20日
評価確定日	平成21年3月16日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

### ○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

### ○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

### ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	3970200139		
法人名	株式会社 徳増工業		
事業所名	グループホーム なかよし		
所在地 (電話番号)	高知県室戸市元甲206番1 (電話)0887-23-1857		
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成21年1月20日	評価確定日	平成21年3月16日

## 【情報提供票より】(平成20年12月31日事業所記入)

## (1)組織概要

開設年月日	平成16年7月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18人
職員数	18人	常勤6(内兼務2)人、非常勤12人、常勤換算15人	

## (2)建物概要

建物形態	併設	新築及び改築
建物構造	鉄骨造り	
	3階建ての	3階部分

## (3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	10,000~13,000円	その他の経費(月額)	11,000円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,000円	

## (4)利用者の概要(12月31日現在)

利用者人数	18名	男性	2名	女性	16名	
要介護1	5名	要介護2	4名			
要介護3	7名	要介護4	0名			
要介護5	2名	要支援2	0名			
年齢	平均	87歳	最低	77歳	最高	97歳

## (5)協力医療機関

協力医療機関名	室戸病院、有光歯科
---------	-----------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

母体法人の会社の敷地内にある建物の3階に事業所があり、デイサービスセンターが併設されている。近くには神社があり、利用者もよく出かけ、清掃活動を行っている。利用者からの要望で、日頃の言葉かけは方言が使われており、馴染みやすく家庭的な雰囲気が窺われる。職員は、利用者一人ひとりの個性を大切に、その人らしさを発揮しやすい環境作りに取り組んでいる。管理者も積極的で、日々のサービスの記録や人材育成のための内部研修に力を入れている。意見や苦情を事業所の宝であると考え、家族などから出された意見等をサービスの質の向上に反映させるため、法人運営の介護保険施設全体で苦情解決委員会を設置し、定期的に検討会を開催している。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での主な改善課題である、「地域密着型サービスとしての理念」、「栄養摂取や水分確保の支援」、「居心地のよい共用空間づくり」については改善されているが、「同業者との交流を通じた向上」、「重度化や終末期に向けた方針の共有」、「災害対策」については改善されていないので今後の取り組みが望まれる。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	全職員で話し合い自己評価に取り組んでいる。運営者に報告のうえ、運営推進会議でも報告している。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	事業所から活動報告、参加メンバーから質問や意見が出され双方向的な会になっている。外部評価についても報告しているが、取り組み状況等の話し合いは行われていない。参加メンバーからも意見を聞き、改善に向けて取り組む事が期待される。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	平成19年11月に家族会が発足し、本年は4月、11月に開催している。家族同士の話し合いの場を設けており、苦情が2件出されている。これらについては職員間で話し合い、解決に至り、記録も残している。その結果を受けて、法人内の介護保険施設全体で取り組みむ「苦情解決委員会」を設置し、事業所からも職員2名が検討会に出席し、研修も受け、サービスの質の向上に向けて取り組んでいる。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会に加入し、神社の草引きや清掃活動、地域の神祭の見学、踊りのボランティアや中学生の職場体験学習の受け入れなど、地域との交流は盛んである。近所の方々との付き合いもあり、地域に溶け込んだ事業所である。

## 2. 評価結果（詳細）

（  部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域密着型サービスとして、独自に作り上げられた理念がある。  「自然や地域の人達とふれあいながら、ホームならではのアイデアで、安心して、その人らしさが発揮できる日常の支援を行う」という、地域密着型サービスとしての独自の理念が作られている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。  毎朝のミーティングで理念を唱和し、月1回の職員会でも話し合い確認している。また、理念を壁に掲示し、いつでも確認できるようにしている。  <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。  利用者が「素朴で温かく、ほっと安らげるよう」馴染みのある地元の方言を交えて、ケアに取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。  <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。  事業所近くの神社の草引き等の清掃活動、地域の神祭の見学、中学生の職場体験学習や踊りボランティアの受け入れ等、地域との交流が盛んである。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用  運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。  全職員で話し合い自己評価に取り組んでいる。運営者にも報告している。  <input type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。  外部評価の改善課題について、改善計画が一部しか立てられていない。	○	評価で見出された課題については、全職員で検討し、全ての項目について改善計画を作成して改善に向けて取り組む事が望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="checkbox"/> 会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。  事業所から活動報告、参加メンバーから質問や意見が出され双方向的な会になっている。 <input type="checkbox"/> 評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。  自己評価の内容や外部評価の結果を会議に報告しているが、内容についての話し合いや意見交換がされていない。	○	評価で明らかになった課題については、運営推進会議に報告し、参加メンバーからの意見も取り入れ、改善に向けて取り組むことが望まれる。
6	9	○市町村との連携  事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。  市の保健介護課に相談や指導を受けている。また、市の声かけで地元グループホーム3事業所の情報交換会を行うなど、交流を図っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告  事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。 家族来訪時には近況を報告し、家族の要望等も聞いている。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。 広報紙「なかよし便り」を2～3カ月に1回発行し、月1回の請求書送付時に行事予定表やコメントを添えるなど、近況等を伝えている。 <input checked="" type="checkbox"/> 心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告している。 <input checked="" type="checkbox"/> 金銭について使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。 利用者の小口現金管理を行っており、現金を預かる時は預り金入金依頼書を交わしている。金銭出納帳、現金収支状況報告書で管理し、家族には領収書原本を月1回送付している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 平成19年11月に家族会が発足し、今年は4月、11月と2回開催している。家族会の時には、家族だけで話し合える場も設けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。  最近苦情が2件出され、職員間で話し合って解決し、記録も残している。その結果を受けて、法人内の介護保険施設全体で取り組みむ「苦情解決委員会」を設置し、事業所からも職員2名が検討会に出席し、研修も受け、サービスの質の向上に向けて取り組んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
9	18	○職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<input type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。  昨年10月～12月に5名の退職者があり、馴染みの職員が継続的に支える体制とは言い難い。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。  引継期間は1カ月程度取り、スムーズに移行できるように配慮している。	○	職員の異動や退職はやむを得ない場合もあるが、事業所として日頃から職員との意思の疎通を図ることにより、まとまった職員の離職等を避けるなど、馴染みの職員が継続して支援できる体制づくりに努めることを期待したい。
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。  パート職員も研修会に参加している。 <input checked="" type="checkbox"/> 全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。  月1回の各ユニットごとの勉強会や3カ月に1回の合同会議で報告している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input type="checkbox"/> 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。 <input checked="" type="checkbox"/> 管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。  地元グループホーム3事業所の情報交換会を持ち回りで3カ月に1回実施し、同業者との交流を通じたサービスの質の向上に努めている。	○	県内・全国の他のグループホームとの交流や情報交換により、サービスや職員の質の向上に繋がることが多いので、同業者ネットワークに加入することを期待したい。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用  本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	<input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めるとともに、本人、家族等の意向も確認している。  本人や家族から状況把握を行い、意向の確認もしている。入院中の入居希望者には、病院で管理者と職員が面談し、病状も把握している。 <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。  本人や家族が見学にきている。 <input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者には、複数の職員が面接を行っている。  管理者と職員で面接を行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日々の生活場面の中で、支援する側、される側という認識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。</p> <p>地元の人が多く、昔ながらの風習や行事を教わり、縫い物、活け花、食事の準備・後片づけなど、協働して共に生活している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>職員は利用者と共に暮らす者同士として、「哀しみ」、「不安」、「喜び」、「楽しみ」などの本人の思いを共感し、理解している。</p> <p>不安や気持ちの高ぶりが見られる利用者には優しく手を握り、話を聞いて欲しい人にはペースを合わせゆっくり話を聞くなど、利用者と喜怒哀楽を共にし、思いを理解するように努めている。</p>		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。</p> <p>家族や関係者からの情報や利用者の生活歴を基に、毎日の雑談やコミュニケーションを取る中で、その人の思いや希望等を把握するように努めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。</p> <p>入居時に把握している生活歴等や家族からの情報、本人の言動などから、本人の気持ちを把握するように努めている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。</p> <p>本人や家族から要望を聞き、介護計画に反映させている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。</p> <p>モニタリングは担当者が行っているが、意見交換、カンファレンス、アセスメントは担当者を含む全職員で実施している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。  短期は3カ月、長期は6カ月で見直している。  <input checked="" type="checkbox"/> ワンパターンの期間設定ではなく、本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直し、計画内容に応じた個別の期間設定をしている。  状態の変化に応じてその都度見直し、個別の期間設定を行っている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 医療機関と連携して、医療処置を受けながら事業所で生活が継続ができるように努めている。  協力医療機関の往診が週一回あり、医療処置を受けながら事業所で生活が継続できるように努めている。  <input checked="" type="checkbox"/> 本人、家族の状況に応じて、通院や送迎、特別な外出、外泊などの支援を行っている。  特別な外出や外泊は家族が対応しているが、家族が困難な特別な場合や近くの通院などは職員で対応している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。  本人や家族の意向に沿った医療機関に受診できるように支援している。  <input checked="" type="checkbox"/> 受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。  <input checked="" type="checkbox"/> 受診結果に関する情報の共有ができています。  外来受診で対応した職員が受診報告書に記録し、職員間で共有している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	<input type="checkbox"/> 終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。  家族や協力病院との話し合いは行っているが、看取りの指針等は作成していない。  <input type="checkbox"/> 本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期が迎えられるように取り組んでいる。  協力病院で最期を迎えることを家族が了解しているため、具体的な取り組みは行っていない。	○	重度化や終末期の取り組みについては、事業所の方針を定め、それに基づき、家族、医師、看護師等を交えて話し合うとともに、本人や家族の意向を踏まえて、安心して納得した最期が迎えられるように取り組むことが期待される。

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉がけや対応に配慮している。</p> <p>介助する時は、利用者に寄り添って小さな声で話し掛けるなど、さりげない対応に配慮している。</p> <p><input type="checkbox"/>他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。</p> <p>プライバシーの確保に関する苦情があり、法人内で苦情解決委員会を設置し、定期的に勉強会を行なうなど、現在改善中である。</p> <p><input type="checkbox"/>全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。</p> <p>採用時に職員から誓約書を取り、周知しているが、まだ個人情報保護法の理解が全員に徹底されていない。</p>	○	法人内の苦情解決委員会の勉強会や職員会等で個人情報保護法の理解の徹底を図り、利用者のプライバシーの確保を徹底することが望まれる。
21	52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりが「その日」にどのように過ごしたいかを把握し、それに応じて柔軟に支援している。</p> <p>その日その日の状態や本人の希望・意向を見逃さないように努め、柔軟に支援している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。</p> <p>起床時間や食事時間など、利用者のペースに合わせて柔軟に支援している。</p>		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。</p> <p>利用者の嗜好を把握し献立に取り入れるとともに、味付け、盛り付け、後片づけなど利用者ができることは手伝ってもらい、一緒に進めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>職員は食事の介助にとどまらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。</p> <p>全職員が同じものを一緒に食べている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
23	57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。</p> <p>午前、午後を問わず利用者の希望に沿って毎日入浴できるように支援している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。</p> <p>声かけの時間や内容を工夫し、本人が入浴したくなるように誘導し、支援している。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握し、食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。</p> <p>活け花、梅酒づけ、ラッキョウ漬け、花壇の手入れなど、利用者の得意分野を把握し、力を発揮できる場面を作っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。</p> <p>歌を歌ったり、絵本を見たり、パズルをしたり、新聞を読んだり、般若心経を唱えるなど、色々なことを働きかけ、楽しみごと等を作り出す働きかけをしている。</p>		
25	61	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。</p> <p>近くの神社、理・美容院などに出かけている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。</p> <p>近くのコンビニへの買物、週2回の食材の買い出しへの希望者の同伴、ドライブなど、外出支援を行っている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>居室や日中玄関に鍵をかけていない。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。</p> <p>外出傾向のある利用者には、さりげなく見守りながら、安全に帰ってこれるよう支援している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。</p> <p>近所の住民との付き合いがあり、連絡等してもらえる関係を築いている。</p>		
27	71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p><input type="checkbox"/>事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的実施している。</p> <p>平成20年度は合同、夜間想定訓練を年4回実施しているが、地域住民の参加、協力は得られていない。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。</p> <p>避難路の確保、消火器の点検、水・非常用食料・備品等の準備はしている。</p>	○	災害時には地域住民の協力は不可欠であり、地域住民の参加協力を得た避難訓練を実施することを期待したい。
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。</p> <p>食事摂取量、水分摂取量は各個人記録に記入し把握している。家族には毎月バイタルチェック表を送付している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。</p> <p>利用者の好き嫌いを把握しており、嫌いな食材を細かく刻んだり、調理方法を変えるなどして配慮している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。</p> <p>栄養士にチェックしてもらっている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。</p> <p>リビングにはテーブル、イス、ソファを置き、畳を敷き、利用者同士がくつろげる共用空間を作っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気壊していない。</p> <p>地元の夕日の写真や縫いぐるみ等を飾り、家庭的な雰囲気作りに配慮している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。</p> <p>利用者が活けた花、観葉植物、中庭の花壇など、季節感や五感の刺激に配慮した空間となっている。</p>		
30	83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫している。</p> <p>テレビ、時計、縫いぐるみ、家族写真、塗り絵など、使い慣れた物やお気に入りの物を持ち込み、個別に工夫している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組んでいる。</p> <p>本人と話し合い、好みを把握して居室づくりに取り組んでいる。</p>		